

テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成29年 **1 2 月**の**優しさ**通信



腰部脊柱管狭窄症 足の痛み やさしく治療

傷小さい手術／新薬で症状緩和

・足の痛みやしびれの原因となる腰部脊柱管狭窄症は高齢者に多く、高齢化に伴い患者数が増えています。重症になると歩行や排尿に影響があり、患者の生活の質（QOL）に直結します。

高齢者の1割に狭窄 症状はうち1割

- ・脊柱管の狭窄が見つかる高齢者は約10%で、国内の推定有病者は約580万人。
- ・最も特徴的な症状は、足の痛みやしびれで歩行が困難になっても、少し休むと歩けるようになる「間欠跛行」。
- ・治療は投薬や手術のほか、鎮痛薬を注射するブロック療法や運動療法を併用すること。

(2017年11月27日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



今月の福祉用具－移乗関連用具

その1 移乗動作で使用される用具

補助ベルト

- ・座る姿勢を保つことや立つことが困難な人を移乗介助するとき、腰をしっかり支えることが必要です。
- ・移乗介助用補助ベルトは数カ所にとり手がついていて、歩行が困難で近距離の移動も一人では難しい人をベッドから車いす、車いすから便座などと移乗させるときに使用します。
- ・補助ベルトは移乗者の腰サイズに合っていることが必要です。
- ・移乗者との距離をできるだけ短くするためには、なるべく背中の中央近くに取っ手がついている方が介助量は少なくて済みます。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキストより)